

くりまっこ

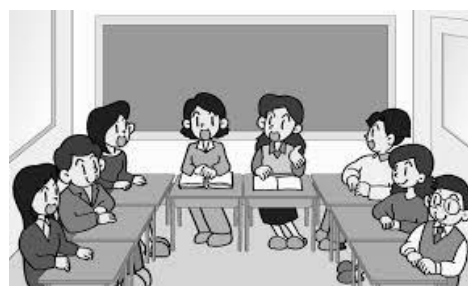
元気いっぱい 笑顔あふれる 栗真の子



授業参観・PTA総会・学級懇談会への参加 ありがとうございました！

昨年度に引き続き、今年度のPTA総会も、対面での開催にしました。保護者の皆様には、お忙しい中であるにもかかわらず、多くの方にお集まりいただき、大変嬉しく思っております。また、授業参観や学級懇談会も含め、円滑に開催することができたのも、保護者の皆様のご理解とご協力のおかげだと思っております。心から感謝申し上げます。

今回のPTA総会において、学校長の挨拶の中で触れさせていただきました「学校運営方針」の詳細については、裏面をご覧ください。今年度の学校教育活動は、この運営方針に基づいて具現化し、進めてまいります。当日、ご都合のため、参加できなかった方も見えますので、挨拶の中で触れさせていただいたことについてお伝えしたいと思います。



この4月には、新1年生19名が入学し、全校児童97名でスタートしました。始まってまだ3週間ばかりですが、子どもたちは新しい学年の顔になって、学習面でも生活面でも、元気よくがんばっています。

本校では、令和6年度も、「つながり合い、学び合う学校」を学校教育目標に掲げ、「自ら進んで考え、仲間とともに学び合い、学ぶことが楽しいと実感できる子ども」を育てて参りたいと考えています。

コロナにより制限された数年間を振り返ると、改めて、人と人との「つながる」大切さを実感しました。また、子どもが安心して学ぶ場として、学校が果たすべき役割の大きさについても、考えさせられました。このことから、今年度も、「子どもの良さをみる」「子どもの変化を見る」「子どものつながりを見る」の「3つの見る」を大切にする学校づくりを進めます。そしてまた、「ていねいに見て、ていねいにかかわり、ていねいにつながる」教育に努めていきたいと思ひます。子ども・保護者・地域・教職員のそれぞれが互いにていねいに関わり合い、「学校っていいなあ」「友だちっていいなあ」「私っていいなあ」「栗真っていいなあ」と、みんなで言い合える学校になるよう努めて参りたいと思ひます。

これから始まる令和6年度についても、子どもたちにとって楽しい学校となるよう、教職員一同、精一杯取り組んでいきますので、保護者の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



今年度の学校運営方針です。よろしくお願いします。

1 学校教育目標

「つながり合い 学び合う学校 ～あたたかく つよく しなやかに～」

自ら進んで考え、仲間とともに学び合い、学ぶことが楽しいと実感できる子どもを育てる

学校づくりの原点

「学校っていいな 友だちっていいな 先生っていいな 栗真っていいな わたしっていいな」

めざす学校像

- 楽しく生き生きと学び合う学校
- 新しい歩みを創り出す学校
- 保護者・地域に信頼される学校

めざす子ども像

- 自ら進んで考え学び続ける子ども
- 自分も人も大切にすること
- 健康で粘り強く取り組む子

めざす教師像

- 互いに磨き合い、高まり合う教師
- 子どもの声に耳を傾け、子どもから学ぼうとする教師

「3つの見る」を大切にし「ていねいにつながる」学校経営・学級経営を進めます。

〈子どものありのままを見る〉〈子どもの変化を見る〉〈子どものつながりを見る〉

ていねいに見て、ていねいにかかわり、ていねいにつながることで「いいな」とみんなが実感できる学校！

信 頼 感

達 成 感

安 心 感

自己肯定感

つ な が り

いいな

2 重点目標

- (1) 「学ぶことが楽しいと実感できる」授業づくりを推進します。
- (2) 「考え、議論する道徳」と「人権教育」の実践を通して、共に生きる仲間づくりを推進します。
- (3) 自分自身の成長に関心を持ち、進んで体力向上を目指す児童の育成に努めます。
- (4) 地域の方々とのつながりを通して、生活と安全を守る行動力をもった児童の育成に努めます。
- (5) 保護者や地域とのよりていねいな情報共有に努めます。
- (6) 安全で安心な学校を目指し、災害への備えや通学路の点検・校内学習環境の整備に努めます。
- (7) 「チーム栗真」として、互いに信頼し、助け合い、高めあえる職場づくりを推進します。
- (8) 教職員の総勤務時間の短縮に向けた取組を推進します。

3 具体的な行動計画 ※特に今年度、保護者の皆様にもご協力願いたい事項を抜粋

- (1) 挨拶はコミュニケーションの第一歩であることを理解し、進んで挨拶のできる子どもを育てる。 → 昨年度の保護者アンケートにおいて、他の項目よりも肯定的な回答が低かったことを受けて、重点的な取組としました。4月から、児童会を中心に、挨拶の励行運動を進めていますので、おうちの方でも声掛けをお願いします。
- (2) 日頃からの継続した安全教育を通して、学校内外での事故による怪我を防ぐために、危険を察知したり、危険を回避したりすることのできる子どもを育てる。
→ 昨年度、運動場や校舎内で、安全に配慮する行動が意識されていたら防ぐことのできた怪我が多かったことを受けて、危険を予想したり、回避したりすることができるよう取り組んでいきたいと思えます。おうちの方でも、ぜひ意識していただけるとありがたいです。